

工事番号														(様式 - 1)					
									課長			係長			検算			担当	
令和 4 年度 ( 繰越 ) 道路メンテナンス事業 荒神堂橋補修工事 閲覧設計書																			
安曇野市穂高牧																			
設 計 大 要										施 工 方 法					請 負				
橋梁補修工 橋長L=10.9m 幅員w=5.05m 上部工 橋面防水工 塗膜系防水材 A=55.0m <sup>2</sup> 伸縮装置取替工 (埋設型) L=10.2m 表面保護工 (地覆、床版) A=85.8m <sup>2</sup> ひび割れ注工 (低圧注工法) L=38.8m 舗装工 (橋面) 表層 改質 型密粒度As20F t=7cm A=55.0m <sup>2</sup> 舗装工 (取付) 表層 改質 型密粒度As20F t=4cm A=33.3m <sup>2</sup>										施 工 期 間					121 日間				
										起工予定年月日					令和 年 月 日				
										竣工予定年月日					令和 年 月 日				
										契約保証方法					金銭的保証				
										・ この資料は、入札参加資格者の迅速な見積に資するとともに、発注者が用いた積算資料を参考として提示するものであり、請負契約において何ら拘束力を生じるものではない。 ・ 諸経費等の条件については、原則変更協議の対象としない。									

# 総括情報表

頁0-0002

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日 資材等の単価の出典	61 安曇野市 0 1 実施単価 50 1 1 中信 ( 2 ) 05.04.28 建設物価・積算資料 当年 4 月号 土木コスト情報・土木施工単価 当年春号		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 ( % ) 消費税率 ( % ) 工種 施工地域区分 ( 共通仮設 ) 施工地域区分 ( 現場管理 ) 現場環境改善費率計上分 契約保証方法 豪雪割増	40 10 % 10 橋梁保全工事 03 一般交通影響有り ( 2 ) - 1 03 一般交通影響有り ( 2 ) - 1 02 上記以外 01 金銭的保証 02 豪雪割増無し		

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 本工事費 ***						
橋梁保全工事						
			式			
上部工						
			式			
橋面工						
			式			
舗装版破碎 ( Co舗装 )						
	3	m 3				工種 第0001号表
殻運搬 ( Co殻 )						
	3	m 3				工種 第0002号表
処分費						
	7	t				工種 第0003号表
表層 ( 橋面 )						
	55	m 2				工種 第0004号表
橋面防水工						
			式			

( 工事費内訳書 )

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋面防水					
	55	m 2			工種 第0005号表
排水装置設置工					
	6	箇所			工種 第0006号表
取付舗装					
		式			
舗装版切断					
	12	m			工種 第0007号表
舗装版破碎					
	33	m 2			工種 第0008号表
殻運搬 ( As殻 )					
	2	m 3			工種 第0009号表
処分費 ( As殻 )					
	4	t			工種 第0010号表
表層					
	33	m 2			工種 第0011号表
上層路盤					
	33	m 2			工種 第0012号表

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下層路盤					
	33	m 2			工種 第0013号表
表面保護工					
		式			
含浸材塗布 地覆					
	11	m 2			工種 第0014号表
伸縮装置工					
		式			
伸縮装置取替工 A1部					
	5.1	m			工種 第0015号表
伸縮装置取替工 A2部					
	5.1	m			工種 第0016号表
地覆処理工					
	2.9	m			工種 第0017号表
殻運搬 ( Co殻 )					
	1	m 3			工種 第0018号表
処分費 ( Co殻 )					
	1	t			工種 第0019号表

( 工事費内訳書 )

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁0-0006

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ひび割れ補修工					
		式			
低圧注入工法					
		構造物			
ひび割れ補修工（低圧注入工法） 1 構造物当り補修延べ延長 3 8 . 8 m					
	1	構造物			施工 第0 -0019号表
表面保護工					
		式			
含浸材塗布 床版					
	75	m 2			工種 第0020号表
任意仮設工					
		式			
任意仮設工					
		式			
吊足場工 床版					
	59	m 2			工種 第0021号表
吊足場工 地覆					
	27	m 2			工種 第0022号表

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
足場・防護					
	86	m 2			工種 第0023号表
*** 直接工事費 ***					
*** 現場環境改善費（率分） ***					
率 0.0188					
*** 共通仮設費率計算額 ***					
補正無の率 0.2732		補正後の率 0.3825			
*** 共通仮設費計 ***					
*** 純工事費 ***					
*** 現場管理費 ***					
補正無の率 0.6497		補正後の率 0.7796			

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 工事原価 **						
* 一般管理費 等 *  補正無の率 0.2208			前払率補正	1.0000		
			契約保証補正	0.0004		
** 工事価格計 **						
** 消費税等 相当額計 **  率 0.1000						
** 工事費計 **						
( 参考 ) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額 率 0.0390						



鋪裝版破碎 (Co鋪裝)

## 工種明細表

工種 第0001号表

頁0-0009

[illegible]

殼運搬 (Co殼)

## 工種明細表

工種 第0002号表

頁0-0010

[illegible]

処分費

## 工種明細表

工種 第0003号表

頁0-0011

[illegible]

表層（橋面）

## 工種明細表

工種 第0004号表

頁0-0012

[illegible]

## 橋面防水

# 工種明細表

工種 第0005号表

頁0-0013

[illegible]

工 種 明 細 表

工種 第0006号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水装置設置工 スラブドレーン ステンレスフレキシブル管 20						施工 第0 -0006号表
		1	箇所			
*** 単位当り ***						
		1	箇所			

## 鋪裝版切断

## 工種明細表

工種 第0007号表

頁0-0015

[illegible]

鋪裝版破碎

## 工種明細表

工種 第0008号表

頁0-0016

[illegible]



殼運搬 (As殼)

## 工種明細表

工種 第0009号表

頁0-0017

[illegible]

処分費（As殻）

## 工種明細表

工種 第0010号表

頁0-0018

[illegible]

表層

# 工種明細表

工種 第0011号表

頁0-0019

[illegible]

# 上層路盤

# 工種明細表

工種 第0012号表

頁0-0020

[illegible]

## 下層路盤

## 工種明細表

工種 第0013号表

頁0-0021

[illegible]

含浸材塗布

工 種 明 細 表

工種 第0014号表

地覆

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	表面含浸工（無機質セメント結晶生成材）						
		1	m 2				
	*** 単位当り ***						
		1	m 2				

## A1部

工種 第0015号表

頁0-0023

[illegible]

A2部

工種 第0016号表

頁0-0024

[illegible]



## 地覆处理工

## 工種明細表

工種 第0017号表

頁0-0025

[illegible]

殼運搬 (Co殼)

## 工種明細表

工種 第0018号表

頁0-0026

[illegible]

処分費 (Co殻)

# 工種明細表

工種 第0019号表

頁0-0027

[illegible]

床版

工種 第0020号表

頁0-0028

[illegible]

床版

工種 第0021号表

頁0-0029

[illegible]

地覆

工種 第0022号表

頁0-0030

[illegible]

## 足場・防護

# 工種明細表

工種 第0023号表

頁0-0031

[illegible]

# 施工内訳表

頁0-0032

構造物とりこわし  
無筋構造物 人力施工

夜間作業（20時～6時）なし

施工 第0 -0001号表

1 m 3 当り

[illegible]

安曇野市



# 施 工 内 訳 表

頁0-0033

殻運搬

舗装版破碎 DID区間なし 1.5km以下

機械積込(小規模土工)

施工 第0 -0002号表

1

m 3 当り

機械構成比： 19.63% 労務構成比：

71.11%

材料構成比： 9.26%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 2 t 積級	19.63%	供用日		ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		
運転手 (一般)	71.11%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	9.26%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
殻発生作業：舗装版破碎 DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込(小規模土工) 運搬距離：1.5km以下		

処分費

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0003号表

100 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	t			
*** 合 計 ***	100	t			
*** 単位当り ***	1	t			
処分費（円 / t）：					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0035

表層（車道・路肩部）

施工 第0 -0004号表

3.0m超

平均仕上り厚 7 0 mm

1

m 2 当り

機械構成比： 1.72% 労務構成比： 10.75% 材料構成比： 87.53% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルトフィニッシャ [ ホイール ] 賃料 舗装幅 2 . 3 ~ 6 m	1.15%	日		アスファルトフィニッシャ [ ホイール ] 賃料		
タイヤローラ賃料 質量 8 ~ 2 0 t	0.18%	日		タイヤローラ賃料		
ロードローラ [ マカダム ] 賃料 質量 1 0 ~ 1 2 t	0.18%	日		ロードローラ [ マカダム ] 賃料		
普通作業員	4.06%	人		普通作業員		
特殊作業員	2.31%	人		特殊作業員		
運転手（特殊）	2.28%	人		運転手（特殊）		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0036

表層（車道・路肩部）

施工 第0 -0004号表

3.0m超

平均仕上り厚 7 0 mm

1

m 2 当り

機械構成比： 1.72%

労務構成比： 10.75%

材料構成比： 87.53%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	0.78%	人		土木一般世話役		
- 3 改質アスファルト混合物 密粒(20F) ポリマー改質 型	86.96%	t		アスファルト混合物 密粒度 ( 2 0 )		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	0.50%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
平均幅員：3.0m超 標準締固め後密度：2.35t/m3 材料：密粒(20F) ポリマー改質 型 アスファルト混合物夜間割増：夜間割増なし				1層当り平均仕上り厚(mm)：70 瀝青材料種類：瀝青材料なし アスファルト混合物小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0037

橋面防水工  
塗膜系防水 補修

施工 第0 -0005号表

100 m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋面防水工 塗膜系防水 補修	100.000	m <sup>2</sup>			
床版排水（ドレーン）材	60.900	m			
目地材	42.000	m			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 2			
*** 単位当り ***	1	m 2			
施工区分：塗膜系防水 床版排水材設計量（m / 1 0 0 m 2 ）無 = 0 : 58 夜間作業の有無：夜間作業（ 2 0 時 ~ 6 時 ）なし 目地材単価（円 / m ）D > 0 時入力：			作業区分： 補修 目地材設計量（m / 1 0 0 m 2 ）なし = 0 : 40 床版排水（ドレーン）材単価（円 / m ）：		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0038

排水装置設置工  
スラブドレーン

ステンレスフレキシブル管 20

施工 第0 -0006号表

10

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 100mm以上110mm未満 50mm以上200mm未満	10.0	孔			施工 第0-0007号表
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機） 60mm以上64mm未満 50mm以上200mm未満	10.0	孔			施工 第0-0008号表
スラブドレーン（本体） スラブドレーン 42.7×660	10.0	セット			
フレキシブルチューブ 20	10.0	m			
ステンレス留金具 フレキシブルチューブ用 20mm	10.0	個			
注入材 エポキシ樹脂	2.7	k g			
排水管設置 足場あり	6.6	m			施工 第0-0009号表
*** 合 計 ***	10	箇所			
*** 単位当り ***	1	箇所			

# 施 工 内 訳 表

頁0-0039

コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

100mm以上110mm未満

50mm以上200mm未満

施工 第0 -0007号表

1

孔 当り

機械構成比：

2.99%

労務構成比：

61.31%

材料構成比：

35.70%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型 最大穿孔径 2 5 c m	1.53%	供用日		電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型		
発動発電機 [ ガソリンエンジン駆動 ] 賃料 3 k V A	0.90%	日		発動発電機 [ ガソリンエンジン駆動 ] 賃料		
特殊作業員	35.50%	人		特殊作業員		
普通作業員	9.45%	人		普通作業員		
土木一般世話役	4.91%	人		土木一般世話役		
ダイヤモンドビット 1 1 0 mm     スタンダード	33.05%	個		ダイヤモンドビット 1 1 0 mm		

施 工 内 訳 表

コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

施工 第0 -0007号表

100mm以上110mm未満

50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比： 2.99%

労務構成比：

61.31%

材料構成比：

35.70%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー スタンド	2.16%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
削孔径：100mm以上110mm未満 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				削孔深さ：50mm以上200mm未満		



# 施 工 内 訳 表

頁0-0041

コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

60mm以上64mm未満

50mm以上200mm未満

施工 第0 -0008号表

1

孔 当り

機械構成比：

3.34%

労務構成比：

68.62%

材料構成比：

28.04%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型 最大穿孔径 2 5 c m	1.71%	供用日		電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型		
発動発電機 [ ガソリンエンジン駆動 ] 賃料 3 k V A	1.01%	日		発動発電機 [ ガソリンエンジン駆動 ] 賃料		
特殊作業員	39.74%	人		特殊作業員		
普通作業員	10.57%	人		普通作業員		
土木一般世話役	5.49%	人		土木一般世話役		
ダイヤモンドビット 6 4 . 7 mm     スタンダード	25.07%	個		ダイヤモンドビット 6 4 . 7 mm		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0042

コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）

60mm以上64mm未満

50mm以上200mm未満

施工 第0 -0008号表

1

孔 当り

機械構成比：

3.34%

労務構成比：

68.62%

材料構成比：

28.04%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単 価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー スタンド	2.42%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
削孔径：60mm以上64mm未満 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				削孔深さ：50mm以上200mm未満		

施 工 内 訳 表

頁0-0043

排水管設置  
足場あり

施工 第0 -0009号表

1 m 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
特殊作業員	48.32%	人		特殊作業員		
普通作業員	29.90%	人		普通作業員		
土木一般世話役	21.29%	人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
足場の有無：足場あり						

# 施 工 内 訳 表

頁0-0044

舗装版切断  
アスファルト舗装版

施工 第0 -0010号表

機械構成比： 6.20% 労務構成比： 15cm以下 54.85% 材料構成比： 38.95% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深 2 0 c m 級 B 径 5 6 c m	4.19%	供用日		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式]		
特殊作業員	19.02%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	9.77%	人		土木一般世話役		
普通作業員	8.28%	人		普通作業員		
ブレード (コンクリートカッタ) 径 2 2 インチ ( 5 6 c m )	36.13%	枚		ブレード (コンクリートカッタ) 径 2 2 インチ ( 5 6 c m )		
ガソリン レギュラー スタンド	1.91%	L		ガソリン レギュラー スタンド		

施 工 内 訳 表

舗装版切断  
アスファルト舗装版

施工 第0 -0010号表

1

m 当り

機械構成比： 6.20% 労務構成比： 15cm以下 54.85% 材料構成比： 38.95% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単 価 (東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
舗装版種別：アスファルト舗装版 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				アスファルト舗装版厚：15cm以下		

舗装版破碎積込（小規模土工）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0011号表

頁0-0046

機械構成比： 22.76% 労務構成比： 69.45% 材料構成比： 7.79% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
小型バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0．13m3	22.76%	供用日		小型バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次		
運転手（特殊）	69.45%	人		運転手（特殊）		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	7.79%	L		軽油 1．2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ						

処分費

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0012号表

頁0-0047

100 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	t			
*** 合 計 ***	100	t			
*** 単位当り ***	1	t			
処分費（円 / t）：					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0048

表層（車道・路肩部）

施工 第0 -0013号表

3.0m超

平均仕上り厚 4 0 mm

1

m 2 当り

機械構成比： 1.64% 労務構成比： 10.38% 材料構成比： 87.98% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルトフィニッシャ [ ホイール ] 賃料 舗装幅 2 . 3 ~ 6 m	1.05%	日		アスファルトフィニッシャ [ ホイール ] 賃料		
タイヤローラ賃料 質量 8 ~ 2 0 t	0.16%	日		タイヤローラ賃料		
ロードローラ [ マカダム ] 賃料 質量 1 0 ~ 1 2 t	0.16%	日		ロードローラ [ マカダム ] 賃料		
普通作業員	3.72%	人		普通作業員		
特殊作業員	2.12%	人		特殊作業員		
運転手（特殊）	2.09%	人		運転手（特殊）		



# 施 工 内 訳 表

頁0-0049

表層（車道・路肩部）

施工 第0 -0013号表

3.0m超

平均仕上り厚 4 0 mm

1

m 2 当り

機械構成比： 1.64% 労務構成比： 10.38% 材料構成比： 87.98% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	0.72%	人		土木一般世話役		
- 3 改質アスファルト混合物 密粒(20F) ポリマー改質 型	79.82%	t		アスファルト混合物 密粒度 ( 2 0 )		
アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	7.61%	L		アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	0.46%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

# 施工内訳表

頁0-0050

表層（車道・路肩部）

3.0m超

平均仕上り厚 40 mm

施工 第0 -0013号表

1

m 2 当り

機械構成比： 1.64%

勞務構成比： 10.38%

10.38% 材料構成比： 87.98%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0051

上層路盤（歩道部）

全仕上り厚 1 0 0 mm

機械構成比： 5.59%

労務構成比：

1層施工

65.31%

材料構成比：

29.10%

市場単価構成比：

施工 第0 -0014号表

1  
標準単価：

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
小型バックホウ〔クローラ型〕賃料 排ガス2次 山積0.11m <sup>3</sup>	2.89%	日		小型バックホウ〔クローラ型〕賃料		
振動ローラ〔搭乗式・コンバインド型〕賃料 排ガス1次 質量3～4t	2.54%	日		振動ローラ〔搭乗式・コンバインド型〕賃料		
普通作業員	27.38%	人		普通作業員		
運転手（特殊）	23.22%	人		運転手（特殊）		
特殊作業員	12.81%	人		特殊作業員		
粒調碎石 25mm以下	27.32%	m <sup>3</sup>		再生粒度調整碎石 RM - 30		

施 工 内 訳 表

頁0-0052

上層路盤（歩道部）

全仕上り厚 1 0 0 mm

機械構成比： 5.59%

労務構成比：

1層施工

65.31%

材料構成比：

29.10%

市場単価構成比：

施工 第0 -0014号表

0.00%

標準単価：

1

m 2

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	1.73%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
全仕上り厚(mm)：100 材料：粒度調整碎石 M - 2 5				施工区分：1層施工		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0053

下層路盤（歩道部）

全仕上り厚 2 0 0 mm

機械構成比： 6.08%

労務構成比：

1層施工

71.02%

材料構成比：

22.90%

市場単価構成比：

施工 第0 -0015号表

1  
標準単価：

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
小型バックホウ [ クローラ型 ] 賃料 排ガス 2 次 山積 0 . 1 1 m 3	3.15%	日		小型バックホウ [ クローラ型 ] 賃料		
振動ローラ [ 搭乗式・コンバインド型 ] 賃料 排ガス 1 次 質 量 3 ~ 4 t	2.76%	日		振動ローラ [ 搭乗式・コンバインド型 ] 賃料		
普通作業員	29.78%	人		普通作業員		
運転手（特殊）	25.25%	人		運転手（特殊）		
特殊作業員	13.93%	人		特殊作業員		
再生クラッシャーラン 4 0 mm以下	20.97%	m 3		再生クラッシャーラン R C - 4 0		

施 工 内 訳 表

頁0-0054

下層路盤（歩道部）

全仕上り厚 2 0 0 mm

機械構成比： 6.08%

労務構成比：

1層施工

71.02%

材料構成比：

22.90%

市場単価構成比：

施工 第0 -0015号表

0.00%

標準単価：

1

m 2

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	1.88%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
全仕上り厚(mm)：200 材料：再生クラッシュラン R C - 4 0				施工区分：1層施工		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0055

橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工

施工 第0 -0016号表

補修 床版箱抜型 1車線相当

突合わせ目地，あるいは埋設型の場合

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 補修 床版箱抜型 1車線相当	1.000	m			
埋設型伸縮継手工 加算額 床版箱抜型 本体材料費 特殊合材費	0.060	m 3			
埋設型伸縮継手工 加算額 床版箱抜型 本体材料費 伸縮金物費	1.000	m			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m			
施工区分：補修 床版箱抜型 1車線相当 夜間作業の有無：夜間作業（20時～6時）なし			伸縮装置断面積（m <sup>2</sup> ）：0.06 既設伸縮装置の形式（A＝4～7時選択）：突合わせ目地，あるいは埋設型の場合		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0056

橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工

施工 第0 -0017号表

補修 床版箱抜型 1車線相当

突合わせ目地，あるいは埋設型の場合

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 補修 床版箱抜型 1車線相当	1.000	m			
埋設型伸縮継手工 加算額 床版箱抜型 本体材料費 特殊合材費	0.040	m 3			
埋設型伸縮継手工 加算額 床版箱抜型 本体材料費 伸縮金物費	1.000	m			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m			
施工区分：補修 床版箱抜型 1車線相当 夜間作業の有無：夜間作業（20時～6時）なし			伸縮装置断面積（m <sup>2</sup> ）：0.04 既設伸縮装置の形式（A＝4～7時選択）：突合わせ目地，あるいは埋設型の場合		



# 施 工 内 訳 表

頁0-0057

殻運搬

ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし

機械積込 DID区間なし 1.6km以下

施工 第0 -0018号表

1

m 3 当り

機械構成比： 43.25% 労務構成比：

42.18%

材料構成比： 14.57%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 1 0 t 積級	43.25%	供用日		ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		
運転手 ( 一般 )	42.18%	人		運転手 ( 一般 )		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	14.57%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
* * * 単位当り * * *						
殻発生作業：ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込 運搬距離：1.6km以下		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0058

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

施工 第0 -0019号表

1 構造物当り補修延べ延長 3 8 . 8 m

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.250	人			
特殊作業員	3.725	人			
普通作業員	2.755	人			
注入材	0.200	k g			
シール材	5.480	k g			
低圧注入器具	183.000	個			
諸雑費	6.000	%			
*** 単位当り ***	1	構造物			
1 構造物当り補修延べ延長区分：1 構造物当り補修延べ延長 2 5 m以上			1 構造物当り補修延べ延長 L ( m ) : 38.8		
1 構造物当りの注入材使用量 ( k g ) : 0.2			1 構造物当りのシール材設計量 ( k g ) : 4		
1 構造物当りの低圧注入器具使用量 ( 個 ) : 183			注入材単価 ( 円 / k g ) :		
シール材単価 ( 円 / k g ) :			低圧注入器具単価 ( 円 / 個 ) :		

# 施工内訳表

頁0-0059

足場工

桁高 1.5 m 未満

主体足場架設供用月数 1 . 5 月

施工 第0 -0020号表

1 m 2 当り

[illegible]

安曇野市

# 施 工 内 訳 表

頁0-0060

足場・防護（橋梁地覆補修）

施工 第0 -0021号表

シート+板張 1回 1 m 2 当り  
 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
橋りょう特殊工	89.07%	人		橋りょう特殊工		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
防護種類：シート+板張 足場を架設している総月数：1.0月を超え1.5月以下				1工事での足場使用回数：1回		

# 施工内訳表

頁0-0061

ネット防護工  
設置・撤去+賃料

供用月数 1 . 5 月

施工 第0 -0022号表

1 m 2 当り

[illegible]

安曇野市

位置図



## 特 記 事 項

工事名：令和4年度（繰越）道路メンテナンス事業 荒神堂橋補修工事

箇所名：安曇野市 穂高牧

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

### 1 工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおり。

### 2 工期関係

工期は、契約日から 121 日間 とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含まれている。

### 3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

### 4 残土・廃棄物関係

(1) 本工事の施工において生じる産業廃棄物及び発生土の処分については、下表の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

(2) 建設発生土 【参考】

受入場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
—	—	— km	

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

(3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法） 【参考】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等					
アスファルト塊		再利用	処理工場名	共和リテック(株)		距離	1.4	km
			数 量	4	t	・ m <sup>3</sup>		
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	共和リテック(株)		距離	1.4	km
			数 量	8	t	・ m <sup>3</sup>		
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名			距離		km
			数 量			t	・ m <sup>3</sup>	
	二次 製品	再利用	処理工場名			距離		km
			数 量			t	・ m <sup>3</sup>	
建設発生木材			処理工場名			距離		km
			数 量			t	・ m <sup>3</sup>	

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針） 【参考】

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等	
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>
汚 泥		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>
その他（金属クズ他）		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（３）、（４）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

(5) 建設副産物の運搬・処理について

ア 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ 下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うとともに、マニフェスト伝票（Ａ、Ｂ２、Ｄ、Ｅ表）の提示すること。写しをしゅん工書類に添付すること。（写しの添付については、初回、中間、最終を基本とする。少量の場合には、監督員と事前打ち合わせ願います。）

併せて、再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真をしゅん工書類に添付すること。

オ 受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項

※該当するものを選択する

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処 分 先 (業 者)	業 者 名		許可番号		
	住 所				
運 搬 委 託 先 (委託の場合)	業 者 名		許可番号		
	住 所				
そ の 他	資源化の方法など				

・添付書類

ア 処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ 受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート

## 5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	上記と同様	上記と同様



安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工事金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地 所有者又は管理 者及び工事影響 範囲の利害関係 者など	農地については、 工事の進捗及び営 農上支障になるこ との調整。その他 利害関係者との調 整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所 など	駐車場、案内看板 などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事事への影響 確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事事への影響 確認。	上記と同様	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調 整。また、本工事 事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事事に係るこ と	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応 すること。	上記と同様	苦情については、即対 応のこと。要望につい ては、監督員と協議の うえ対応すること。

(2) 個別事項

- 一 工事着手日の2週間前には、現場周辺の住民、区長、町会長、沿線地権者、耕作者へ工事通知文を提出すること。また、必要があれば関係機関は周知、協議を行うこと。  
通知文は協議書で提出し、監督員の確認後に周知すること。
- 二 本工事は車両通行止めでの作業を想定しています。歩行者等の通行の確保をお願いします。
- 三 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- 四 不可視部分の施工にあたっては、監督員の立会い確認を求めること。
- 五 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。
- 六 本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上しています。
  - (一) 実施する内容については、安曇野市土木工事共通仕様書 別紙ー5の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）、合計5つの内容を選択すること。  
選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。
  - (二) (一) で選択した実施内容について、実際に現場で実施する内容を『現場環境改善費事例集（長野県建設部）』を参考に記載する。
  - (三) この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とします。  
積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。
  - (四) この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行いません。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行います。
  - (五) 当初設計で計上されていた場合、受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合については、費用の全額を減額するものとします。
- 七 本工事は工事成績評定の対象工事です。
- 八 その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議願います。

# 荒神堂橋 数量総括表

工種	種別	細別	単位	数量	設計値	備考
1.上部工						
(1)橋面工						
1)舗装版取壊し	舗装版破砕 (CO)	t=40～74mm	m3	3.1	3	
2)殻運搬	コンクリート殻	運搬距離1.4km DT10t	m3	3.1	3	
3)殻処分	コンクリート殻		t	7.3	7	
4)舗装打替	表層 改質Ⅱ型密粒度As20F	t=40～136mm	m2	55.0	55	
(2)橋面防水工						
1)橋面防水	塗膜系防水材料		m2	55.0	55	
2)排水ドレーン	床版厚t=660mm		箇所	6	6	
3)フレキシブルチューブ	φ25mm、L=1.0m		本	6	6	
4)導水パイプ	φ18mmステンレス		m	31.8	32	58m/100㎡当
5)成形目地材	30*5		m	21.8	22	40m/100㎡当
(3)取付舗装工						
1)舗装版切断		t=50mm	m	12.4	12	
2)舗装版破砕		t=50mm	m2	33.3	33	
3)殻運搬	アスファルト殻	運搬距離1.4km DT10t	m3	1.7	2	
4)殻処分	アスファルト殻		t	3.9	4	
5)アスファルト舗装工	表層 改質Ⅱ型密粒度As20F	t=40mm	m2	33.3	33	
6)上層路盤工	粒調碎石 M-25	t=100mm	m2	33.3	33	
7)下層路盤工	再生碎石RC-40	t=200mm	m2	33.3	33	
2.地覆工						
(1)表面保護工	表面含浸工	無機質セメント結晶生成材	m2	10.9	11	
3.伸縮装置工						
(1)伸縮装置取替工						
1)伸縮装置取替工	埋設型ジョイント	A1 断面積0.06㎡	m	5.1	5.1	
	埋設型ジョイント	A2 断面積0.04㎡	m	5.1	5.1	
	シール材	地覆	m	2.9	2.9	
2)殻運搬	コンクリート殻		m3	0.5	1	
3)殻処分	コンクリート殻		t	0.2	0.2	
4.床版補修工						
(1)ひびわれ補修工			橋	1	1	
1)ひびわれ注入工	①延べ延長		m	38.8	38.8	
	②注入材使用料	エポキシ樹脂 3種適合品	kg	0.2	0.2	
	③シール材		kg	4.0	4	
	④低圧注入器具		個	183	183	
2)表面保護工	表面含浸工	無機質セメント結晶生成材	m2	74.9	75	
5.任意仮設工						
(1)足場工						
1)床版補修用足場	タイプA		㎡	58.5	59	
2)地覆補修用足場	タイプE		㎡	27.0	27	
3)足場防護・シート			㎡	85.5	86	

# 荒神堂橋 補修数量計算書

## 1. 橋面工

### (1) 舗装打替工

1) 舗装版破碎                      コンクリート舗装                      t=40mm～74mm

$$A = 5.05 \times 10.90 \times 0.057 \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{3.1 \text{ m}^3}}$$

2) 舗装面積                      改質Ⅱ型密粒度As20F                      t=40mm～136mm

$$A = 5.05 \times 10.90 \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{55.0 \text{ m}^2}}$$

### (2) 橋面防水工（塗膜系防水材）

1) 防水工面積

$$A = \text{舗装面積同様} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{55.0 \text{ m}^2}}$$

2) 排水ドレーン      床版厚660mm

$$N = \text{橋面舗装補修工図より} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{6 \text{ 箇所}}}$$

3) フレキシブルチューブ φ25, L=1.0m

$$N = \text{排水ドレーンと同様} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{6 \text{ 本}}}$$

4) 導水パイプ      φ18

$$L = \text{橋面舗装補修工図より} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{31.8 \text{ m}}}$$

5) 成形目地材

$$L = 10.90 + 10.90 \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{21.8 \text{ m}}}$$

### (3) 取付舗装工

1) アスファルト舗装工                      改質Ⅱ型密粒度As20 t=40mm

$$A = 5.05 \times 3.00 \times 2 + 3.00 \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{33.3 \text{ m}^2}}$$

2) 上層路盤工                      粒調碎石M-25                      t=100mm

$$A = 5.05 \times 3.00 \times 2 + 3.00 \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{33.3 \text{ m}^2}}$$

3) 下層路盤工                      再生碎石RC-40                      t=200mm

$$A = 5.05 \times 3.00 \times 2 + 3.00 \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{33.3 \text{ m}^2}}$$

4) 舗装版破碎

$$A = \text{アスファルト舗装工と同様} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{33.3 \text{ m}^2}}$$

5) 舗装版切断

$$L = 7.37 + 5.05 \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{12.4 \text{ m}}}$$

### (4) 殻運搬

$$V = 33.3 \times 0.05 \qquad \qquad \qquad \text{アスファルト殻} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{1.7 \text{ m}^3}}$$

$$V = 55.05 \times (0.04 + 0.074)/2 \qquad \qquad \qquad \text{コンクリート殻} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{3.1 \text{ m}^3}}$$

### (5) 殻処分

$$1.70 \times 2.30 \qquad \qquad \qquad \text{アスファルト殻処分} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{3.9 \text{ t}}}$$

$$3.10 \times 2.35 \qquad \qquad \qquad \text{コンクリート殻処分(無筋)} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{7.3 \text{ t}}}$$

## 2. 地覆補修工

### (1) 表面保護工（無機質セメント結晶生成材）

$$A = \text{表面保護工集計表より} \qquad \qquad \qquad \underline{\underline{10.9 \text{ m}^2}}$$

### 3. 伸縮装置工

#### (1) 伸縮装置取替工

##### 1) 埋設型ジョイント

$$\text{A1部} \quad L = \text{別紙集計表より} = \underline{\underline{5.100 \text{ m}}}$$

$$\text{A2部} \quad L = \text{〃} = \underline{\underline{5.100 \text{ m}}}$$

$$\text{合計} = \underline{\underline{10.200 \text{ m}}}$$

$$\text{2) シール材} \quad L = \text{別紙集計表より} = \underline{\underline{2.900 \text{ m}}}$$

##### 2) コンクリート取壊体積

$$\text{A1部} \quad V = 0.40 \times 0.151 \times 5.113 = \underline{\underline{0.30 \text{ m}^3}}$$

$$\text{A2部} \quad V = 0.40 \times 0.096 \times 5.113 = \underline{\underline{0.20 \text{ m}^3}}$$

$$\text{合計} = \underline{\underline{0.50 \text{ m}^3}}$$

##### 3) 殻処分

$$0.500 \times 2.35 \quad \text{コンクリート殻(無筋)} = \underline{\underline{1.20 \text{ t}}}$$

### 4. 床版補修工

#### (1) ひびわれ補修工

##### 1) ひびわれ注入工 (低圧注入工法) エポキシ樹脂(第3種適合品)

$$\text{① 延べ延長} = \underline{\underline{38.80 \text{ m}}}$$

$$\text{② 注入材使用量 (ロス率1.15含む)} = \underline{\underline{0.20 \text{ kg}}}$$

$$\text{③ シール材} = \underline{\underline{4.00 \text{ kg}}}$$

$$\text{④ 低圧注入器具} = \underline{\underline{183 \text{ 個}}}$$

##### (2) 表面保護工 (無機質セメント結晶生成材)

$$A = \text{表面保護工集計表より} = \underline{\underline{74.90 \text{ m}^2}}$$

### 5. 仮設工

#### (1) 足場工

##### 1) 足場工 床版補修用 (タイプA)

$$A = 9.31 \times 6.285 = \underline{\underline{58.50 \text{ 掛m}^2}}$$

##### 2) 足場工 地覆補修用 (タイプE)

$$A = 9.31 \times 1.45 \times 2 = \underline{\underline{27.00 \text{ 掛m}^2}}$$

##### 3) 足場工 足場・防護シート

$$A = 58.50 + 27.00 = \underline{\underline{85.50 \text{ 掛m}^2}}$$

表面保護工(無機質セメント結晶生成材)

部位	NO	施工面積(m2)		部位	NO	施工面積(m2)	
地覆							
		床版補修工図より	10.860				
小計			10.860	小計			0.000

## 表面保護工（無機質セメント結晶生成材）

## 表面保護工集計表

表面保護工（無機質セメント結晶生成材）

部材	延べ施工量(m <sup>2</sup> )
地覆	10.860
1橋当たり	10.860

# ひび割れ補修工(低圧注入工法)

## 数 量 表

部材： 床版

材料： エポキシ樹脂 (第3種適合品)

エポキシ樹脂比重＝ 1.18

とする

注入材ロス率＝ 1.4

とする

部位	NO	ひび割れ数量				V×比重 重量W(g)	注入器の数 @250	注入器1本当り 使用量(g) (ロス率含む)	注入材使用量(g) (ロス率含む)	
		幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ D(mm)	容量 V(ml)				エポキシ樹脂	－
床版	①- 1	0.30	900	10	2.70	3.19	4	1.12	4.48	
〃	①- 2	0.20	200	10	0.40	0.47	1	0.66	0.66	
〃	①- 3	0.20	600	10	1.20	1.42	3	0.67	2.01	
〃	①- 4	0.20	300	10	0.60	0.71	2	0.50	1.00	
〃	①- 5	0.30	400	10	1.20	1.42	2	1.00	2.00	
〃	①- 6	0.20	200	10	0.40	0.47	1	0.66	0.66	
〃	①- 7	0.30	700	10	2.10	2.48	3	1.16	3.48	
〃	①- 8	0.50	1000	10	5.00	5.90	4	2.07	8.28	
〃	①- 9	0.20	500	10	1.00	1.18	2	0.83	1.66	
〃	①- 10	0.20	500	10	1.00	1.18	2	0.83	1.66	
〃	①- 11	0.50	900	10	4.50	5.31	4	1.86	7.44	
〃	①- 12	0.20	300	10	0.60	0.71	2	0.50	1.00	
〃	①- 13	0.50	1000	10	5.00	5.90	4	2.07	8.28	
〃	①- 14	0.20	600	10	1.20	1.42	3	0.67	2.01	
〃	①- 15	0.20	400	10	0.80	0.94	2	0.66	1.32	
〃	①- 16	0.40	1200	10	4.80	5.66	5	1.59	7.95	
〃	①- 17	0.50	500	10	2.50	2.95	2	2.07	4.14	
〃	①- 18	0.20	700	10	1.40	1.65	3	0.77	2.31	
〃	①- 19	0.30	500	10	1.50	1.77	2	1.24	2.48	
〃	①- 20	0.20	1000	10	2.00	2.36	4	0.83	3.32	
〃	①- 21	0.20	800	10	1.60	1.89	4	0.67	2.68	
〃	①- 22	0.20	400	10	0.80	0.94	2	0.66	1.32	
〃	①- 23	0.20	600	10	1.20	1.42	3	0.67	2.01	
小計			14.2			51.34	64		72.15	



# ひび割れ補修工(低圧注入工法)

## 数 量 表

部材： 床版

材料： エポキシ樹脂 (第3種適合品)

エポキシ樹脂比重＝ 1.18

とする

注入材ロス率＝ 1.4

とする

部位	NO	ひび割れ数量				V×比重 重量W(g)	注入器の数 @250	注入器1本当り 使用量(g) (ロス率含む)	注入材使用量(g) (ロス率含む)	
		幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ D(mm)	容量 V(ml)				エポキシ樹脂	－
床版	①- 24	0.20	300	10	0.60	0.71	2	0.50	1.00	
〃	①- 25	0.20	600	10	1.20	1.42	3	0.67	2.01	
〃	①- 26	0.40	300	10	1.20	1.42	2	1.00	2.00	
〃	①- 27	0.30	1200	10	3.60	4.25	5	1.19	5.95	
〃	①- 28	0.20	700	10	1.40	1.65	3	0.77	2.31	
〃	①- 29	0.20	700	10	1.40	1.65	3	0.77	2.31	
〃	①- 30	0.20	600	10	1.20	1.42	3	0.67	2.01	
〃	①- 31	0.20	900	10	1.80	2.12	4	0.75	3.00	
〃	①- 32	0.20	600	10	1.20	1.42	3	0.67	2.01	
〃	①- 33	0.20	500	10	1.00	1.18	2	0.83	1.66	
〃	①- 34	0.30	400	10	1.20	1.42	2	1.00	2.00	
〃	①- 35	0.20	400	10	0.80	0.94	2	0.66	1.32	
〃	①- 36	0.20	1100	10	2.20	2.60	5	0.73	3.65	
〃	①- 37	0.20	300	10	0.60	0.71	2	0.50	1.00	
〃	①- 38	0.20	700	10	1.40	1.65	3	0.77	2.31	
〃	①- 39	0.20	300	10	0.60	0.71	2	0.50	1.00	
〃	①- 40	0.20	700	10	1.40	1.65	3	0.77	2.31	
〃	①- 41	0.20	300	10	0.60	0.71	2	0.50	1.00	
〃	①- 42	0.20	300	10	0.60	0.71	2	0.50	1.00	
〃	①- 43	0.20	100	10	0.20	0.24	1	0.34	0.34	
〃	①- 44	0.20	400	10	0.80	0.94	2	0.66	1.32	
〃	①- 45	0.20	400	10	0.80	0.94	2	0.66	1.32	
〃	①- 46	0.20	600	10	1.20	1.42	3	0.67	2.01	
小計			12.4			31.88	61		44.84	

ひび割れ補修工(低圧注入工法)

数 量 表

材料： エポキシ樹脂 (第3種適合品)

部材： 床版

エポキシ樹脂比重＝ 1.18  
注入材ロス率＝ 1.4

とする  
とする

部位	NO	ひび割れ数量				V×比重 重量W(g)	注入器の数 @250	注入器1本当り 使用量(g) (ロス率含む)	注入材使用量(g) (ロス率含む)	
		幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ D(mm)	容量 V(ml)				エポキシ樹脂	－
床版	①- 47	0.40	600	10	2.40	2.83	3	1.33	3.99	
〃	①- 48	0.40	500	10	2.00	2.36	2	1.66	3.32	
〃	①- 49	0.20	500	10	1.00	1.18	2	0.83	1.66	
〃	①- 50	0.30	500	10	1.50	1.77	2	1.24	2.48	
〃	①- 51	0.40	400	10	1.60	1.89	2	1.33	2.66	
〃	①- 52	0.30	800	10	2.40	2.83	4	1.00	4.00	
〃	①- 53	0.20	300	10	0.60	0.71	2	0.50	1.00	
〃	①- 54	0.20	300	10	0.60	0.71	2	0.50	1.00	
〃	①- 55	0.30	200	10	0.60	0.71	1	1.00	1.00	
〃	①- 56	0.20	800	10	1.60	1.89	4	0.67	2.68	
〃	①- 57	0.30	1300	10	3.90	4.60	6	1.08	6.48	
〃	①- 58	0.20	800	10	1.60	1.89	4	0.67	2.68	
〃	①- 59	0.30	500	10	1.50	1.77	2	1.24	2.48	
〃	①- 60	0.30	700	10	2.10	2.48	3	1.16	3.48	
〃	①- 61	0.20	100	10	0.20	0.24	1	0.34	0.34	
〃	①- 62	0.20	500	10	1.00	1.18	2	0.83	1.66	
〃	①- 63	0.20	1100	10	2.20	2.60	5	0.73	3.65	
〃	①- 64	0.20	600	10	1.20	1.42	3	0.67	2.01	
〃	①- 65	0.20	800	10	1.60	1.89	4	0.67	2.68	
〃	①- 66	0.30	400	10	1.20	1.42	2	1.00	2.00	
〃	①- 67	0.20	500	10	1.00	1.18	2	0.83	1.66	
小計			12.2			37.55	58		52.91	

ひび割れ補修工(低圧注入工法)

数 量 表

集 計 表

部材	延べ施工量 (m)	注入材使用量(kg)		シーラ材 (kg)	低圧注入器具 (個)
		エポキシ樹脂	—		
床版	38.80	0.1699		3.958	183
合計	38.80	0.170	—	3.958	183

※ シーラ材：  $W(kg) = \text{幅}30(mm) \times \text{厚}2(mm) \times \text{施工延長}L(m) \times \text{比重}1.7(g/cm^3)$

表面保護工(無機質セメント結晶生成材)

部位	NO	施工面積(m2)		部位	NO	施工面積(m2)	
床版							
		床版補修工図より	74.869				
小計			74.869	小計			0.000

## 表面保護工（無機質セメント結晶生成材）

## 表面保護工集計表

表面保護工（無機質セメント結晶生成材）

部材	延べ施工量(m2)
床版	74.869
1橋当たり	74.869

荒神堂橋伸縮装置

数量表（設置）

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
伸 縮 金 物	シームレスジョイント SJ-M型	m	10.226	本体鉄筋・伸縮シート装備
プライマー	F C コ ー ト	L	3.3	
弾 性 合 材	フ ァ ル コ ン	m <sup>3</sup>	0.505	
差筋アンカー	D13	本	160	

数量表（他材料）

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
シ ー ル 材	シ リ コ ン 系	m	2.9	

内訳

<設置>

1. 伸縮金物				
A1部			5.113	m
A2部			5.113	m
計			10.226	m
2. プライマー				
A1部	( 0.40 + 0.151 × # ) × 5.113	×0.5L/m <sup>2</sup>	= 1.8	L
A2部	( 0.40 + 0.096 × # ) × 5.113	×0.5L/m <sup>2</sup>	= 1.5	L
計			3.3	L
3. 弾性合材				
A1部	0.40 × 0.151 × 5.113		= 0.309	m <sup>3</sup>
A2部	0.40 × 0.096 × 5.113		= 0.196	m <sup>3</sup>
計			0.505	m <sup>3</sup>
4. 差筋アンカー				
A1部	20 × 4		= 80	本
A2部	20 × 4		= 80	本
計			160	本

<他材料>

1. シール材	(シリコン系：単位換算=1000、ロス率=1.1)			
地覆部				
A1部	0.753 + 0.733		= 1.5	m
A2部	0.687 + 0.689		= 1.4	m
計			2.9	m

## 資材単価等について

令和4年度（繰越）道路メンテナンス事業 荒神堂橋補修工事に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和5年度実施設計単価表」や積算資料（財団法人経済調査会）及び建設物価（財団法人建設物価調査会）に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(四)

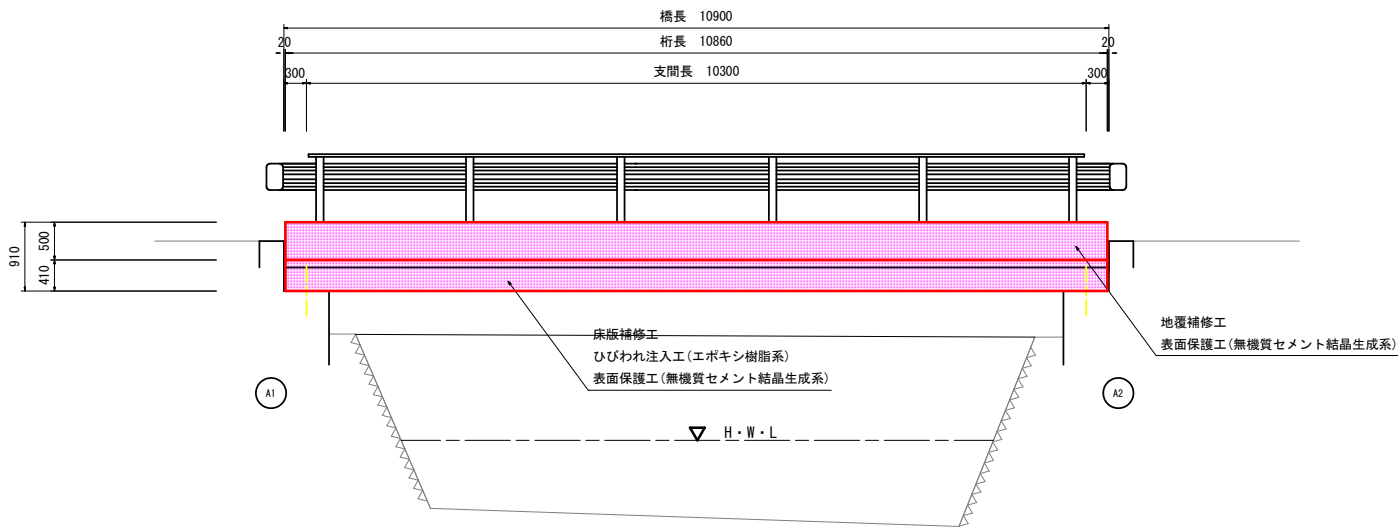
[illegible]

補修工一般図

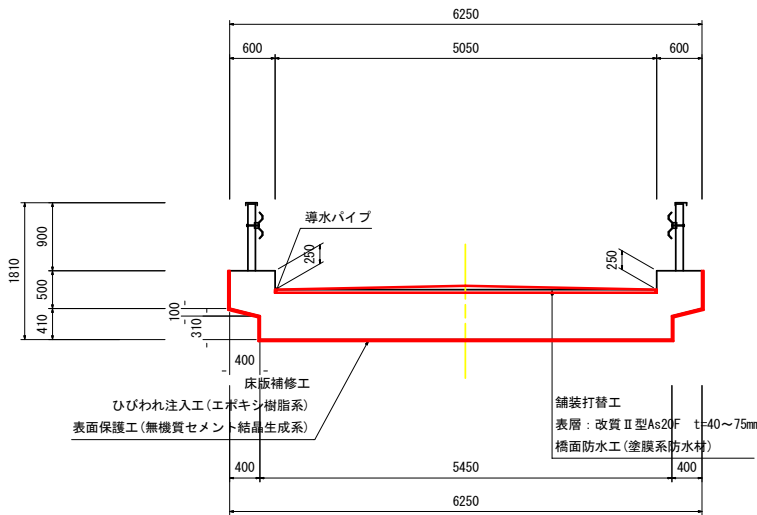
荒神堂橋

S=1:50

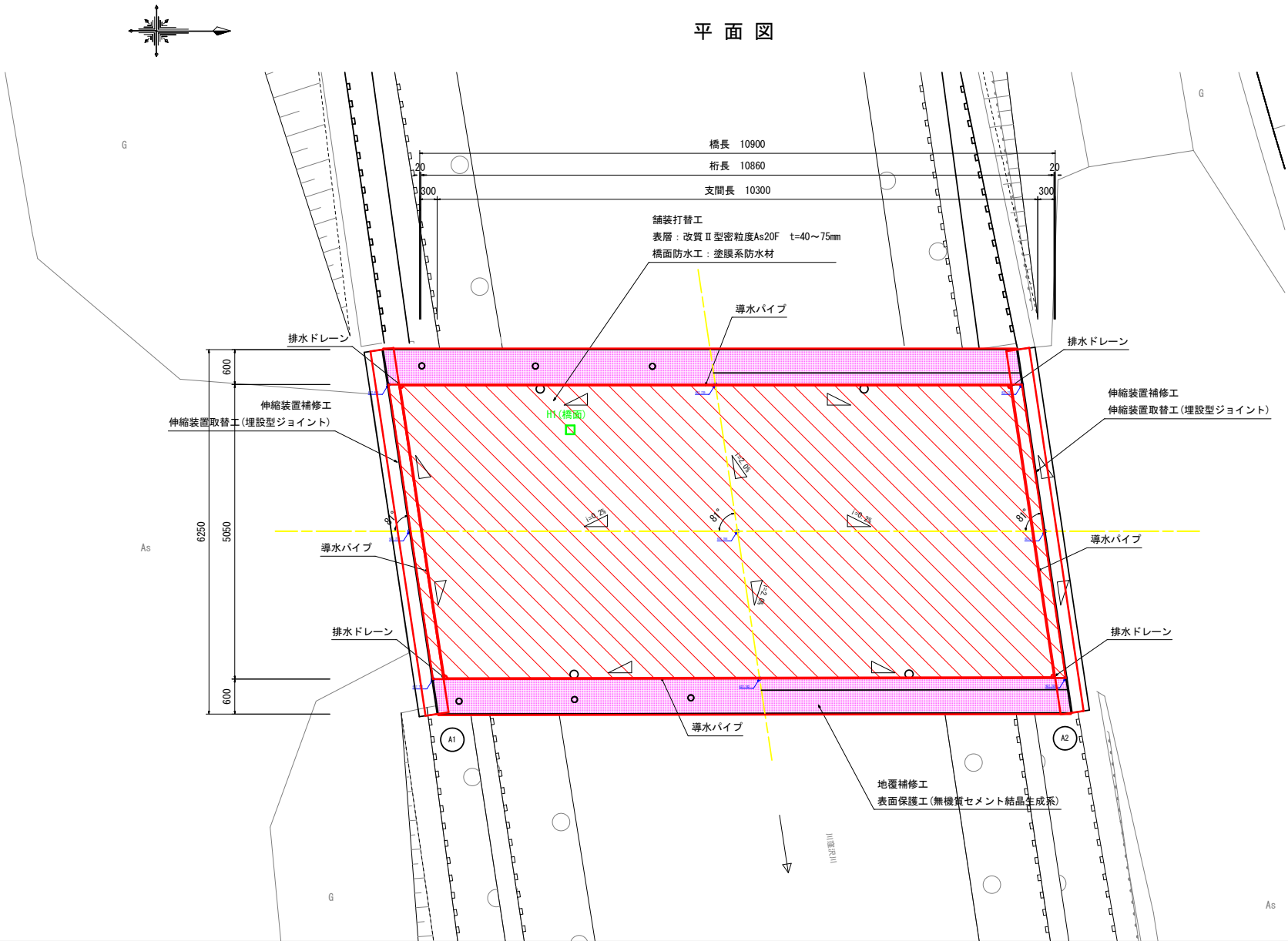
側面図



断面図



平面図



荒神堂橋 橋梁補修工一覧表

	補修部位	工 種	種 別	細 別	備 考	凡 例
橋面工	橋面舗装	橋面防水工	塗膜系防水材料、導水パイプ			
		舗装打替工	表層: 改質Ⅱ型密粒度As20F	t=40~75mm		
	地 覆	表面保護工	無機質セメント結晶生成系			
	伸縮装置	伸縮装置取替工	埋設型ジョイント			
橋体工	床版	ひびわれ注入工	エポキシ樹脂系		3種適合品	
		表面保護工	無機質セメント結晶生成系			

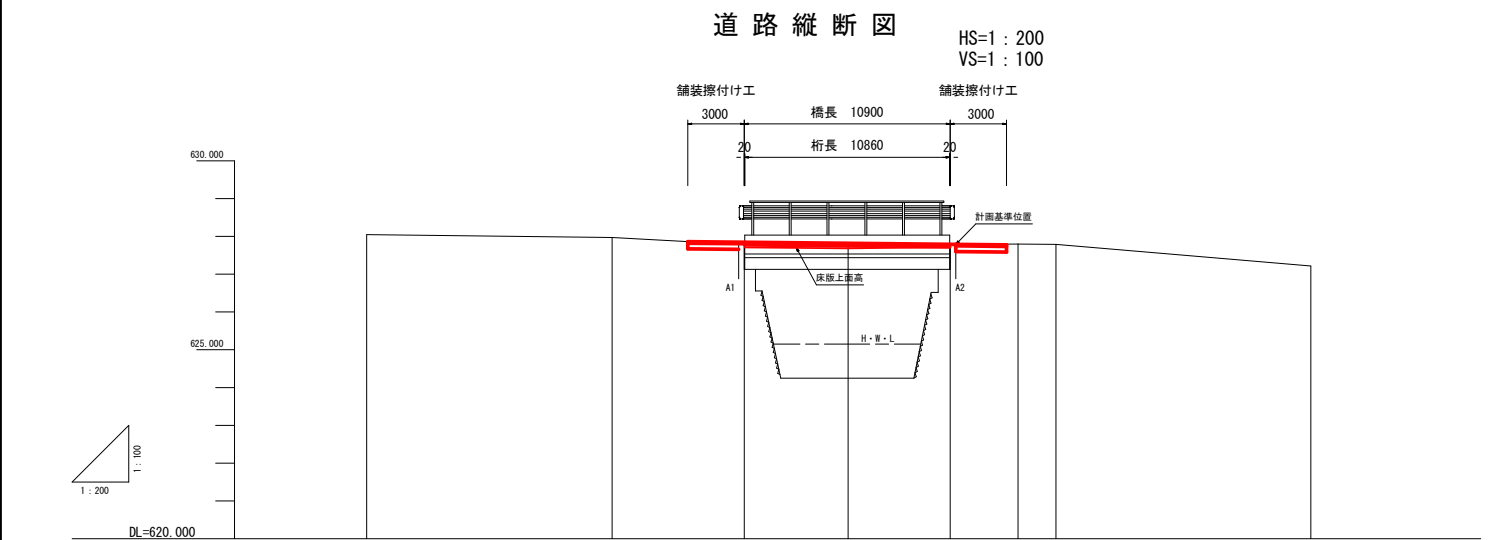
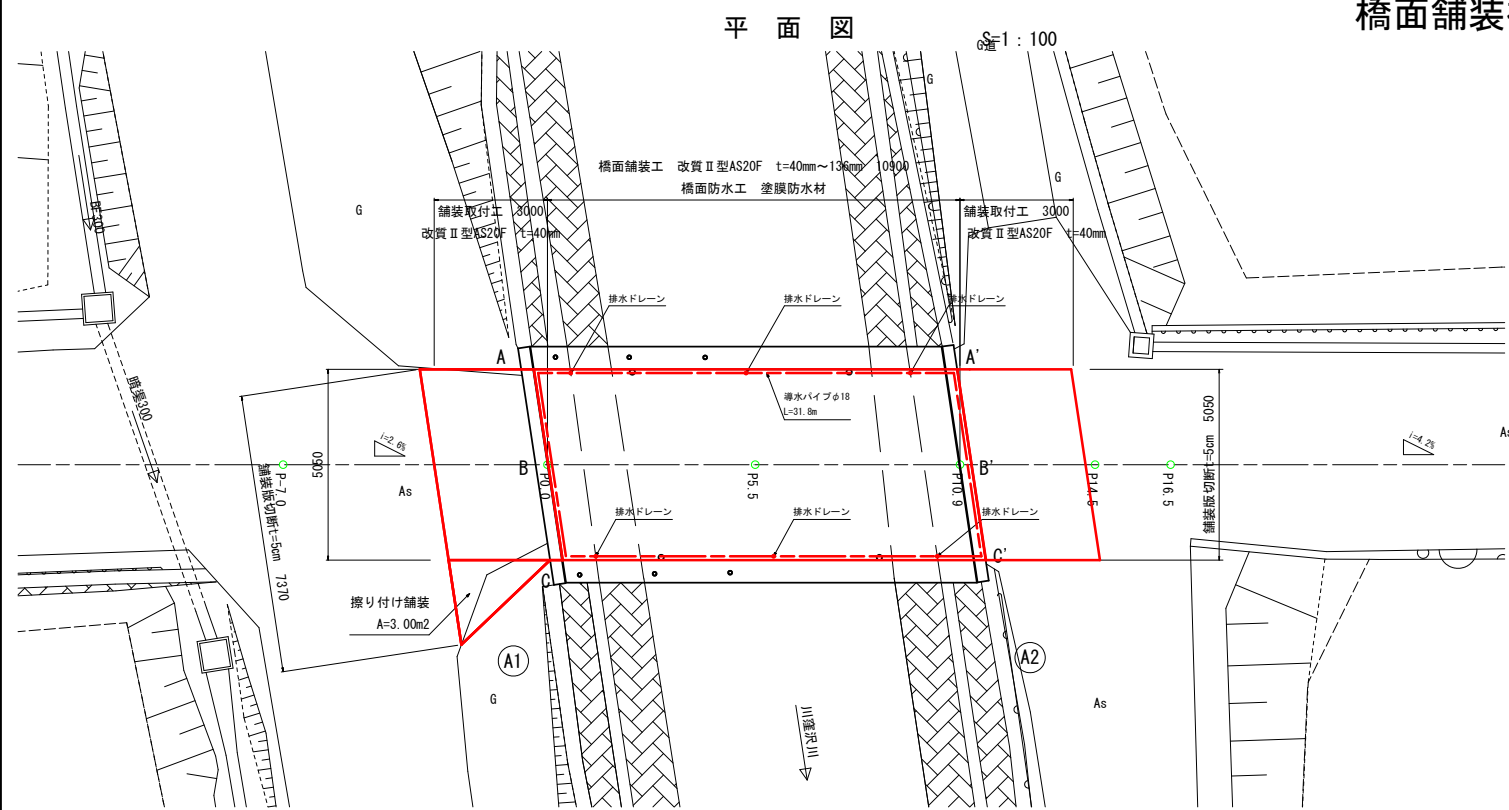
荒神堂橋(コウジンドウハン) 橋梁諸元	
橋梁形式	1径間単純RC床版橋
橋長	10.900m
桁長	10.860m
支間長	10.300m
幅員構成	車道: W = 5.050m
勾配	i=0.5%
斜角	81°
主荷重	T-14
その他の荷重	
使用材料	上部工 RC床版
	下部工 重力式橋台

実施図

令和4年度(繰越) 道路メンテナンス事業 荒神堂橋補修工事			
番号	1 / 5	補修工一般図	縮尺 図 示
安曇野市 穂高牧			
市道穂高4280号線 荒神堂橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市			

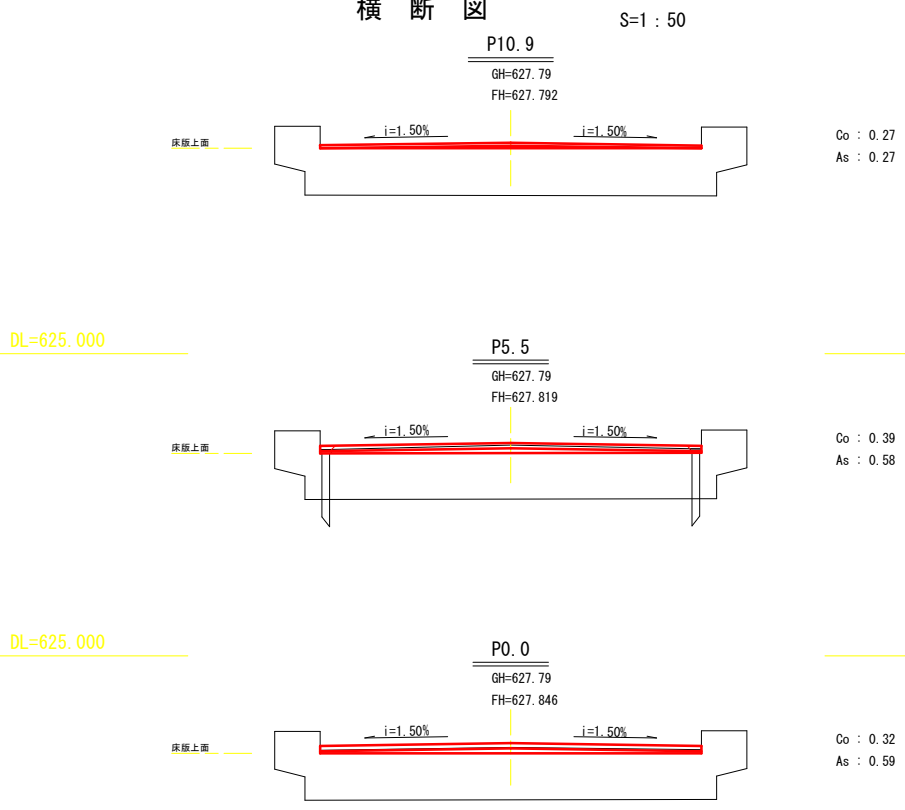


橋面舗装補修工図

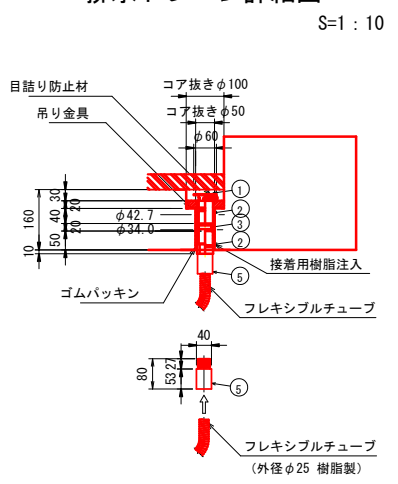


勾配								
盛土								
切土								
計画高								
地盤高	628.05	627.97	627.79	627.79	627.79	627.80	627.79	627.22
追加距離	-20.000	-7.000	0.000	5.500	10.900	14.500	16.500	30.000
単距離	0.000	13.000	7.000	5.500	5.400	3.600	2.000	13.500
測点	P-20.0	P-7.0	P0.0	P5.5	P10.9	P14.5	P16.5	P30.0

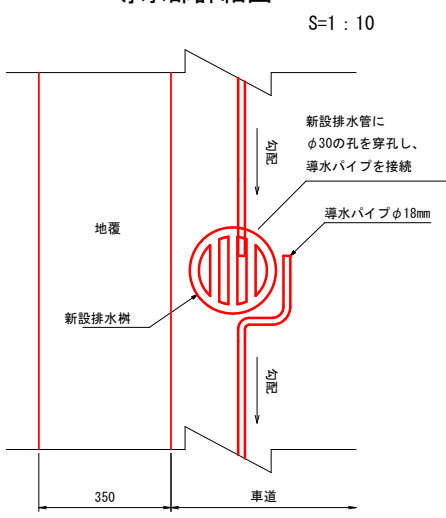
横断面図



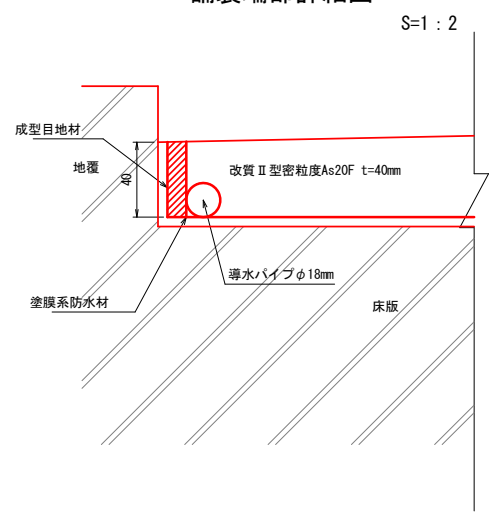
排水ドレーン詳細図



導水部詳細図



舗装端部詳細図



材料表

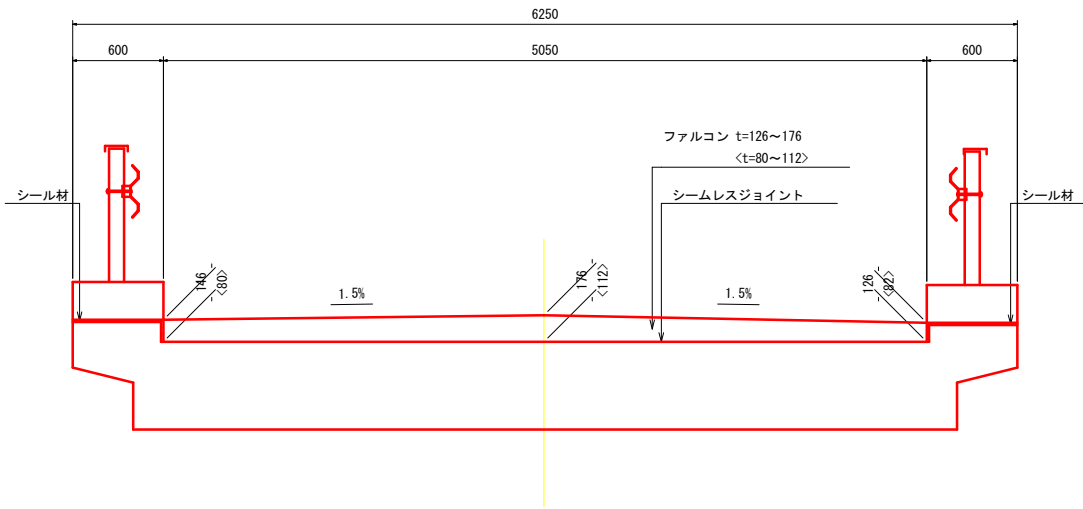
(1箇所当たり)

部 品	寸 法	数 量	備 考
本体構成部品	① φ34.0×35	1	鋼管 (垂鉛メッキ仕上げ) キャップ付 (φ60×2.3t)
本体構成部品	② φ42.7×60	2	鋼管 (垂鉛メッキ仕上げ)
本体構成部品	③ φ34.0×90	1	鋼管 (垂鉛メッキ仕上げ)
本体構成部品	④ 40.0×80	1	樹脂製
吊り金具		1	普通鉄板
接着用樹脂		1	0.27kg (推定)
ゴムパッキン		1	
目詰り防止フィルター		1	スプリングフィルター (SUS304)
フレキシブルチューブ	φ25	1	標準部 L=3.0m、A2下流側 L=3.0m
固定バンド		3 (5)	標準部 N=3個、A2下流側 N=5個 (20A SUS430)

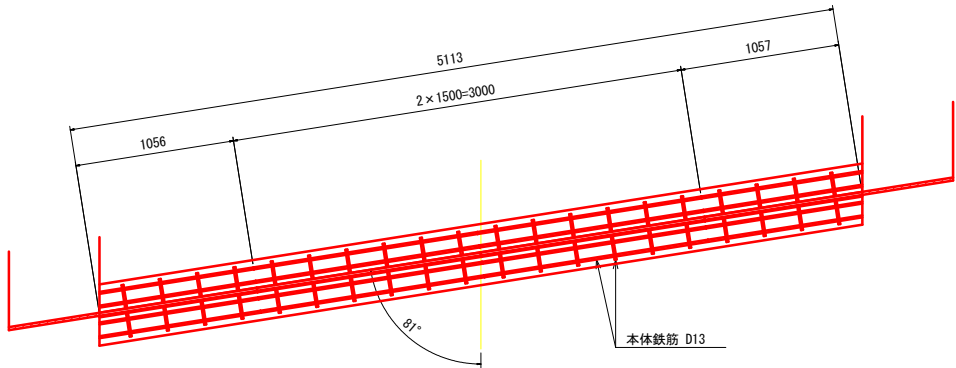
実施図

令和4年度 (繰越) 道路メンテナンス事業 荒神堂橋補修工事			
番号	2 / 5	橋面舗装補修工図	縮尺 図 示
安曇野市 穂高牧			
市道穂高4280号線 荒神堂橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

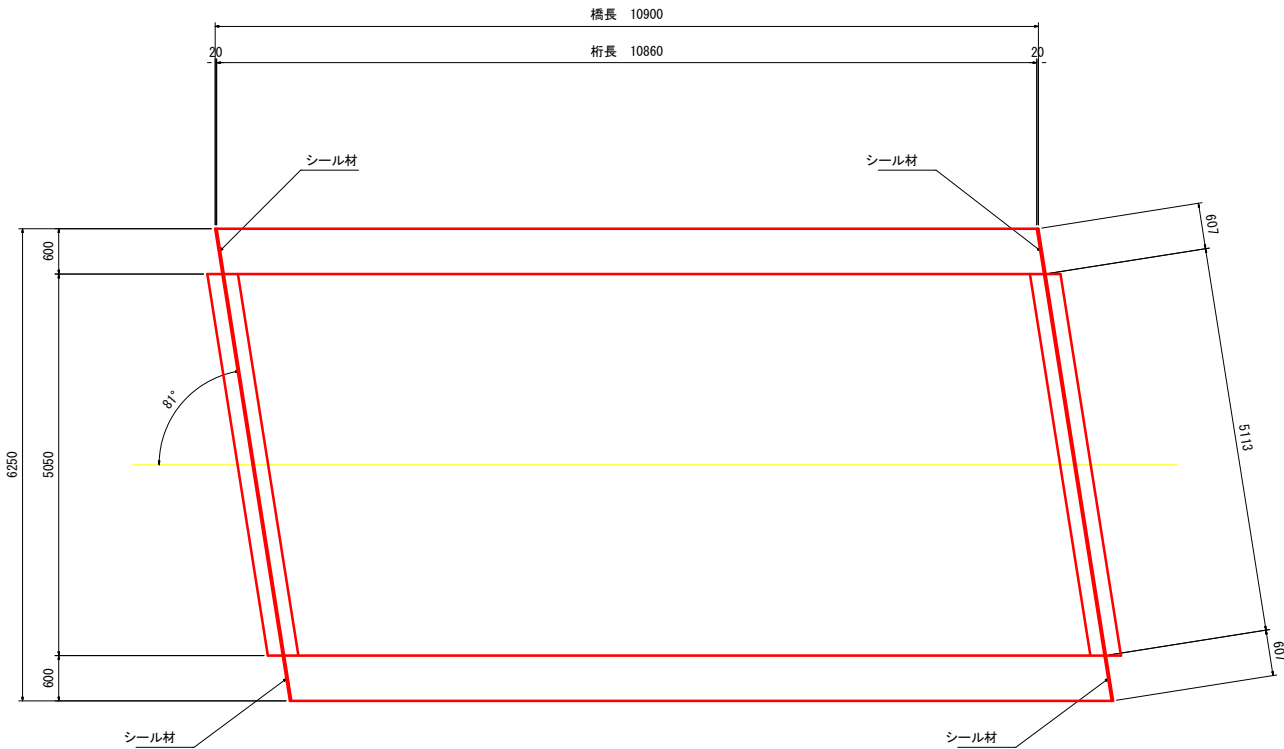
断面図 S=1:25



部材平面図 S=1:25



配置図 S=1:50



A1

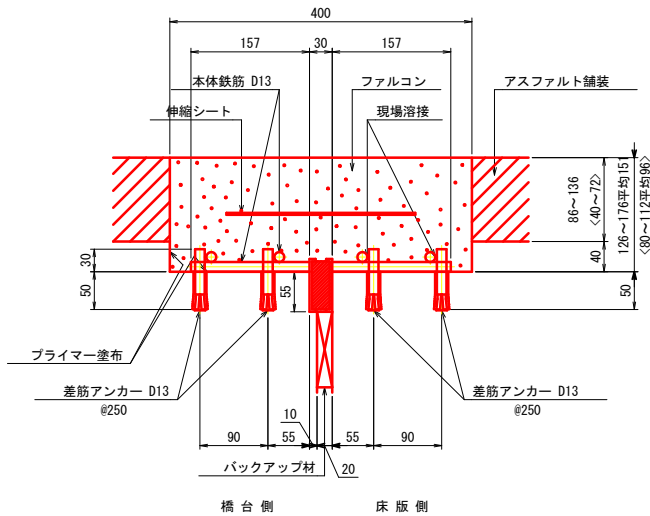
A2

## 伸縮装置補修工図

荒神堂橋

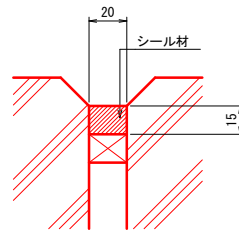
S=1:50

伸縮装置取付断面図 S=1:5

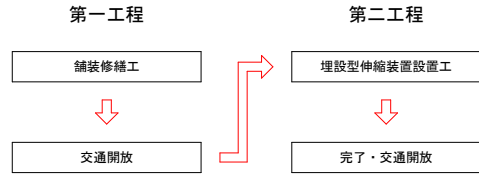


- 注1) 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。  
注2) 伸縮装置箱抜部については、必要に応じて超硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。  
注3) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。  
注4) < >内はA2部を示す。

シール材充填図 S=1:2



## 施工フロー



数量表（設置）

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
伸 縮 金 物	シームレスジョイント SJ-M型	m	10.226	本体鉄筋・伸縮シート装備
プライマー	F C コ ー ト	L	3.3	
弾 性 合 材	ファ ル コ ン	m3	0.505	
差筋アンカー	D13	本	160	

数量表（他材料）

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
シ ー ル 材	シ リ コ ン 系	m	2.9	

実施図

令和4年度（繰越）道路メンテナンス事業 荒神堂橋補修工事			
番号	3 / 5	伸縮装置補修工図	縮 尺 図 示
安曇野市 穂高牧			
市道穂高4280号線 荒神堂橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市			

床版補修工図

荒神堂橋

S=1:50

側 面

床版下面

側 面

床版:②表面保護工

地覆:②表面保護工

凡 例	
	ひび割れ
	ひび割れ
	断面欠損
	腐食
	うき
	変形
	鉄筋露出
	遊離石灰
	豆板 (ソノダ)
	漏水
	補修跡
	コンクリートの表面劣化
	木材の腐食
	現場試験

補 修 工 凡 例

① - 1  
管理番号

①: ひび割れ補修工 (低圧注入工法)  
②: 表面保護工 (無機質セメント結晶生成材)

表面保護工数量 (無機質セメント結晶生成材)

床版

$$( 5.45 + ( 0.31 + 0.412 ) \times 2 ) \times 10.86 = 74.869 \text{ m}^2$$

地覆

$$0.50 \times 2 \times 10.86 = 10.860 \text{ m}^2$$

合計

$$74.869 + 10.860 = 85.729 \text{ m}^2$$

表面保護工 (表面含浸工法) 標準図

(セメント結晶生成系)

参考図

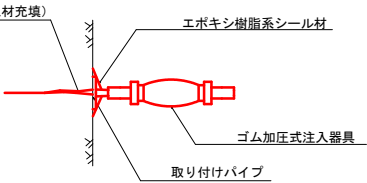
ひび割れ注入工標準図

参考図

開口ひびわれ

	幅 (m)	長さ (L)	深さ (D)		幅 (m)	長さ (L)	深さ (D)
①-1	0.3	900	10	①-36	0.2	1100	10
①-2	0.2	200	10	①-37	0.2	300	10
①-3	0.2	600	10	①-38	0.2	700	10
①-4	0.2	300	10	①-39	0.2	300	10
①-5	0.3	400	10	①-40	0.2	700	10
①-6	0.2	200	10	①-41	0.2	300	10
①-7	0.3	700	10	①-42	0.2	300	10
①-8	0.5	1000	10	①-43	0.2	100	10
①-9	0.2	500	10	①-44	0.2	400	10
①-10	0.2	500	10	①-45	0.2	400	10
①-11	0.5	900	10	①-46	0.2	600	10
①-12	0.2	300	10	①-47	0.4	600	10
①-13	0.5	1000	10	①-48	0.4	500	10
①-14	0.2	600	10	①-49	0.2	500	10
①-15	0.1	400	10	①-50	0.3	500	10
①-16	0.4	1200	10	①-51	0.4	400	10
①-17	0.5	500	10	①-52	0.3	800	10
①-18	0.2	700	10	①-53	0.2	300	10
①-19	0.3	500	10	①-54	0.2	300	10
①-20	0.2	1000	10	①-55	0.3	200	10
①-21	0.2	800	10	①-56	0.2	800	10
①-22	0.2	400	10	①-57	0.3	1300	10
①-23	0.2	600	10	①-58	0.2	800	10
①-24	0.2	300	10	①-59	0.3	500	10
①-25	0.2	600	10	①-60	0.3	700	10
①-26	0.4	300	10	①-61	0.2	100	10
①-27	0.3	1200	10	①-62	0.2	500	10
①-28	0.2	700	10	①-63	0.2	1100	10
①-29	0.2	700	10	①-64	0.2	600	10
①-30	0.2	600	10	①-65	0.2	800	10
①-31	0.2	900	10	①-66	0.3	400	10
①-32	0.2	600	10	①-67	0.2	500	10
①-33	0.2	500	10				
①-34	0.3	400	10				
①-35	0.2	400	10				

※施工はIBNETIS KT-090067-V同等品以上とする。



実施図

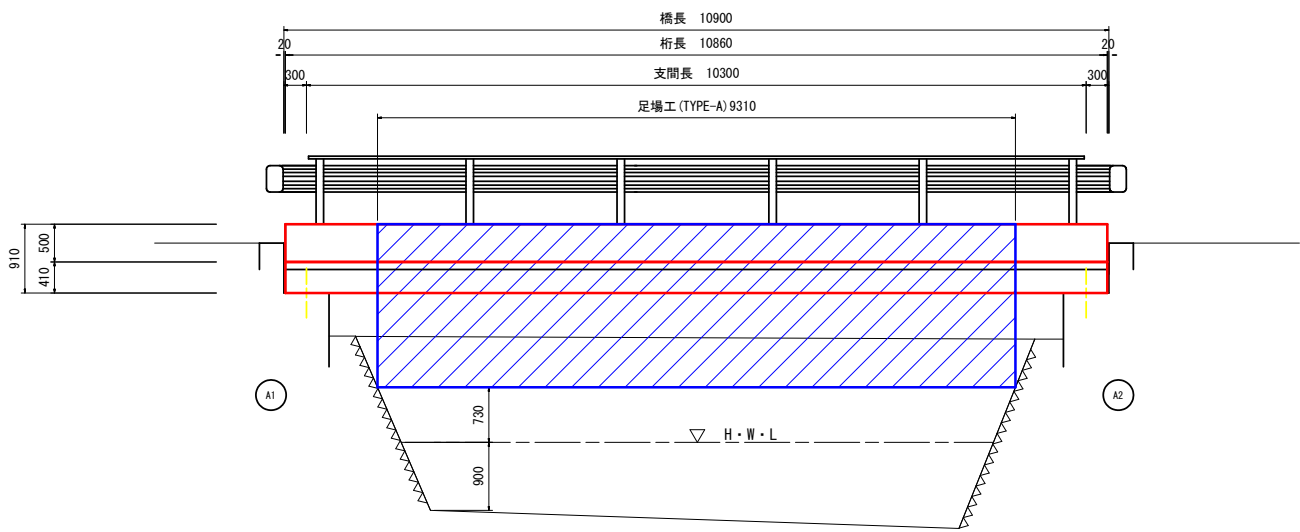
令和4年度（繰越）道路メンテナンス事業 荒神堂橋補修工事			
番号	4 / 5	床版補修工図	縮尺 図 示
安曇野市 穂高牧 市道穂高4280号線 荒神堂橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市			

施工要領図

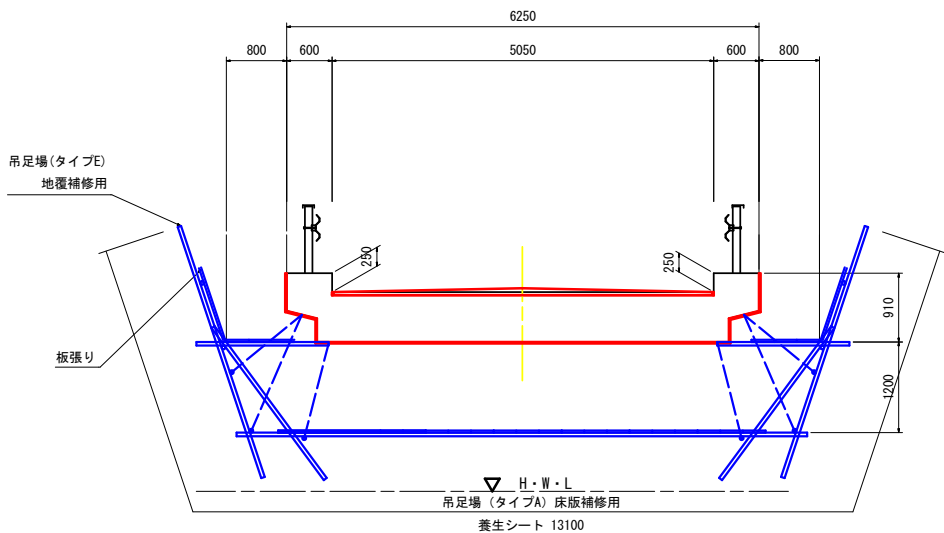
荒神堂橋

S=1:50

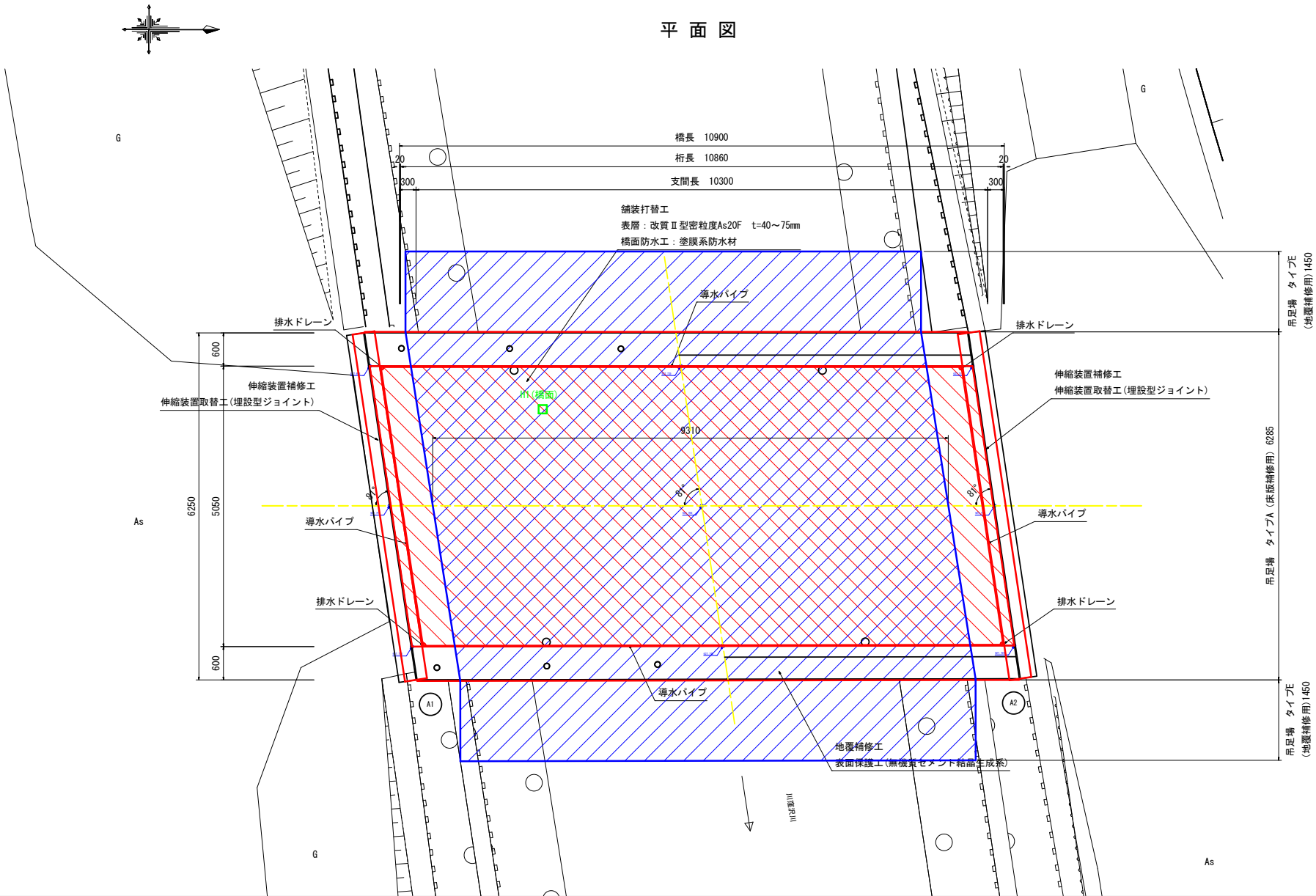
側面図



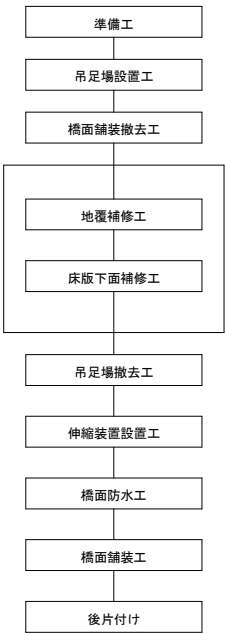
断面図



平面図



施工フロー



参考図

令和4年度（繰越）道路メンテナンス事業 荒神堂橋補修工事			
番号	5 / 5	施工要領図	縮尺 図示
安曇野市 穂高牧			
市道穂高4280号線 荒神堂橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			